

令和3年度 小林市立南小学校 自己評価書

NO. 1

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

学校経営 ビジョン	<p>○ 南小学校の伝統を大切に、児童、教職員、保護者、地域が「自分たちの学校を自分たちでつくる」という当事者意識をもち、次代を生き抜く自立した人材を育てる学校として創意と工夫をこらし、活気ある教育活動を展開する。</p> <p>令和3年度スローガン 『みんなでつくる みんなの南小学校』</p>
--------------	--

〈知 育〉 ○ 主体的な学びと確かな学力

評価 項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組状況	自己評価		結果の考察・分析 及び改善策等
				取組別	総合	
知 育	1 分かる・できる授業による学力向上	<p>◎ ICT活用による授業改善</p> <p>○ 学びたい度90%以上</p>	<p>○ 各教科の授業においてICT機器の活用を積極的に進め、児童にタブレット等を慣れ親しませることにより、学習効果を上げ、理解を深めさせる授業改善を進める。</p> <p>○ タブレットの有効的活用を推進するために、GIGAスクールサポーターによる研修会の実施、授業へのサポートを計画的に進める。</p>	2.88	3.01	<p>・必要に応じてICT機器を授業に取り入れる機会が増えたことにより、児童もタブレット操作に慣れ、学習意欲が高まり、理解を深めることができた。</p> <p>・GIGAスクールサポーターによる教師のニーズに応じたICT活用の研修会を実施し、計画的に授業をサポートしていただき、有効に活用できるようになってきた。※学びたい度85%</p>
	2 研修の充実と授業の相互公開	<p>◎ 思考力、表現力、判断力の向上</p> <p>○ 一人一授業の実践公開</p>	<p>○ 校内研修において、「生きる力」の基礎となる思考力・判断力・表現力の育成の推進を図り、共通理解、共通実践を行い、全員公開授業を実施することを通して、授業改善を図る。</p>	3.17		<p>・一人一授業の公開を行うことにより、個々の授業改善を図ることができた。</p>
	3 家庭学習・読書活動の充実	<p>○ やる気の出る家庭学習の工夫</p> <p>○ 家庭読書習慣化</p>	<p>○ 各学年に応じた家庭学習の仕方を提示するとともに、各学年で工夫した家庭学習を取り組ませる。</p> <p>○ 「家庭学習振り返り週間」「家庭読書週間」を計画的に設定し、家庭と連携した家庭学習、読書の充実と習慣化を図る。</p>	3.00		<p>・家庭訪問で家庭学習資料を配付し、保護者との共通理解を図り、共に見守る素地づくりを行うことができた。</p> <p>・各週間を設定し、親子で振り返ることのできる学習・読書習慣を育ててきたが、個人差が見られ、手立ての必要がある。</p>
	4 特別支援教育の充実	<p>○ 妥当性と見通しのある指導・支援の工夫</p>	<p>○ 月に1回、特別支援教育委員会を開催し、困り感のある児童の指導の仕方について確認をとりながら組織的に対応する指導を行っていく。</p>	3.00		<p>・必要に応じて特別支援教育委員会を実施し、困り感のある児童への指導について共通理解した対応ができた。</p>